

学校法人メリック学園メリック日本語学校（以下「当校」という）は、組織的・継続的に改善措置を講じ、日本語教育機関として質の高い教育を保証し、その向上を図る目的で、自らの教育活動、学校運営について目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について、自己点検・評価を行う。

2026 年 3 月 31 日

評価基準

・各項目の評価方法は5段階評価（5から1）とする。

5：達成されている
4：ほぼ達成されている
3：達成に向けて努力している
2：改善が必要であるため、取り組みを検討中
1：達成されていない

MERIC理念・教育目標

〈理念〉

MERICグループでは、語学教育を中心に国際社会への貢献に努力し、「世界視野を持った心の優しい人創り」をテーマとして活動する。生徒の為に生徒の為に学校創りをモットーとします。

〈教育目標・育成する人材像〉

MERICを卒業後、自身の夢と目標を達成し、世界各国で活躍できるよう日本語教育と人材育成を行う。日本語の習得に留まらず、日本の大学、短大、各種専門学校への進学や、通訳や観光ガイドなど国際ビジネスの場で活躍できる即戦力をもった人材を育てる。

自己点検・自己評価

1	理念・教育目標	
1.1	理念・教育目標・育成する人材像を定めているか	5
1.2	理念、教育目標が、教職員及び学生に周知されているか	5
1.3	理念・教育目標に基づく教育が行われているか	5
<p>当校の理念「世界視野を持った心の優しい人創り」は、多文化共生社会の実現とグローバル社会において活躍するために不可欠なものであり、生徒のみならず教職員スタッフにおいても心がける事として、理念及び教育目標、育成する人物像について、ホームページや入学パンフレットで公開している。こうした理念や育成する人物像については、教職員の入学時における研修オリエンテーションでも周知している。教育理念・方針に基づき、生徒に対し丁寧な指導ケアを行っている。</p>		
2	学校運営・教育環境	
2.1	学校運営及び経営が日本語教育機関の告示基準の要件に適合しているか	5
2.2	運営方針と経営目標が定められているか	5
2.3	意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能しているか	5
2.4	予算編成が適切に行われているか	5
2.5	授業や運営に関する学生からの点検評価を実施しているか	5
2.6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
2.7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
2.8	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できているか	4
2.9	法令上必要な設備等を備えているか	5
2.10	火災、地震等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めて教職員及び学生に周知し、避難訓練を定期的の実施しているか	4

運営方針・事業計画については、学校法人理事会ならびに評議会において次年度の方針・計画、予算を協議し、承認を得ている。学校運営に関し、役職と役割を明確に定め、それに従った組織運営を行うことができている。総務・経理・営業・進路・教務課等の各部署会議や、各課長および各課部署主任会議も行い、計画的な運営を行っている。また業務上の諸問題は、部署内で適宜打ち合わせ等を行い、意思及び状況確認がなされ、効率的運営かつ迅速な対応ができている。

教育環境について、教室内は十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。生徒が授業時間外に自習できる部屋を確保しており、教員及び職員の執務に必要なスペースも確保している。

災害時の避難経路（イラスト地図）を各教室掲示、加えて各クラス出席簿に常時保管し、生徒誘導に備えている。また、防災マニュアルも作成し、地震等の災害時の対策も行っている。

3 教育活動を担う教職員

3.1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めているか	5
3.2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示しているか	5
3.3 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組をしているか	4
3.4 教員及び職員の評価を適切に行っているか	5
3.5 教育の質・向上のための研修が体系的に実施されているか	5
3.6 教育目標達成に必要な教職員を確保できているか	4

校長、主任教員、本務等教員及び非常勤教員の職務内容、事務局長（事務統括）、進路指導主任、営業主任、生活指導事務職員などの役職を設定し、職務内容、責任、権限を定めて、体系的な組織体制で運営を行っている。また、職員及び教員の職務経歴について、ベテランから経験の浅い新任までバランスよく在職し、且つ男女の数バランスもよい。各担当業務のOJT指導や引継ぎ業務が円滑に行われている。また「教職員及び職員スタッフについての無記名アンケート」を毎学期（3か月に1回）実施、生徒による点検評価を行っている。点検評価結果について、各教員及び職員スタッフ本人へフィードバックし、教育と支援の質の向上に努めている。尚、教員については、講師会（毎学期始め）・勉強会や授業見学などを通して、自己研鑽を図る場と機会を設けている。

4 教育活動の計画・実施

4.1 教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成しているか	5
4.2 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか	5
4.3 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしているか	5
4.4 教員に担当クラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達されているか	5
4.5 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	5
4.6 授業を評価し、改善するための体制が整っているか	4
4.7 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制が整っているか	5

初級から上級レベルまで体系的にクラス編成し、毎学期3か月に1度、学習者の到達レベルを確認する進級テストを実施している。成績評価や進級判定について、同レベルクラスの担当教員がテスト採点のダブルチェックや採点基準及び減点項目などの擦り合わせを行うことで、採点ミスをなくし、公正な成績評価と進級判定ができています。

各クラス担任教員、級別に各級教員リーダーを配置、教務主任によって取りまとめを行う体制を整えており、教育内容及び教育方法について教員間で共通理解を得られている。担当クラス学生の情報などの必要な情報も、この配置体制と学生個人カードの利用、職員・教員のチーム指導により送付し伝達が行なわれている。

生徒のニーズに合わせて、必要な各種日本語試験（EJU、JLPT等）の試験対策が授業の中で指導されており、日本語能力レベル別のクラス編成によって試験対策と校内模擬試験を複数回行っている。

5 成績判定と授業評価

5.1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われているか	5
5.2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか	5
5.3 評価体制、評価方法及び評価基準が適切であるか	5
5.4 学生による授業評価を定期的に行っているか	5
5.5 入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理しているか	5
5.6 修了・卒業の判定を適切に行っているか	5

成績評価は全体で統一基準を設け、試験結果並びに生徒へのフィードバックを成績票として各学期末にクラスで配布している。進級判定基準、修了要件なども入学時オリエンテーションに加え、毎学期スタート時のクラス担任が行うオリエンテーション、期末試験前などの折に周知している。また、毎学期、生徒による授業評価アンケートを実施、集計している。結果およびコメントもフィードバックしている。

入学から修了・卒業までの成績、授業態度、出席状況等を当校管理システムによって管理保存し、検索性と一覧性が十分に確保できている。卒業判定について、毎回判定会議を行い、生徒の成績及び出席状況等の確認をしたうえで、決定している。卒業判定結果は、各生徒へ配布している。

6 学生支援

6.1 日本社会を理解し、適応するための取組を行っているか	5
6.2 住居支援を行っているか	5
6.3 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか	5
6.4 危機管理体制を整備しているか	5
6.5 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知しているか	5
6.6 生徒相談に関する体制を整備され、有効に機能しているか	5
6.7 生徒の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	4
6.8 保護者及び生徒紹介機関との連携が適切になされているか	5

各国語（中国語・韓国語・ベトナム語・ミャンマー語・英語）対応の職員スタッフが常駐している体制を整え、生徒相談やトラブル対応を行っている。SNS活用での学生連絡や、緊急連絡先（24時間/365日対応）の各教室掲示、入学オリエンテーション、毎学期の始業日に行う授業オリエンテーション、毎学期開催の学生集会時に配布するレジュメへの掲載を行い、生徒に緊急連絡先の周知もしている。また、台風時の休講措置や休講決定基準を定め、教室掲示や学生集会時に配布するレジュメへの掲載で周知を行っている。

入学時から、生徒全員に対し国民健康保険加入および交通事故等対応の為に団体傷害保険に加入している。さらにウイルス感染拡大防止の対策として、各クラスに消毒液の常備を行い、コロナ感染確認の抗原検査キットと検温計、AEDの保健室常備、また、感染者の陰性証明確認後の教室入室の徹底などにより、生徒及び教職員の保健安全を確保している。

生活指導サポートとして、区役所等との連絡連携によりマイナンバーカード登録や保険加入手続きの案内など生徒に向けて行っている。ゆうちょ口座開設や年金手続きなども、中国語・韓国語・ベトナム語・ミャンマー語・英語対応の職員スタッフが翻訳・通訳サポートを行っている。

申請時及び入学時に保護者連絡先の提出により、保護者との連携が取れる状態にしている。問題発生時や問題発生の懸念がある場合には、仲介紹介機関と母国の保護者への連絡をし、連携が取れるようにしている。連続欠席などの際は、学校スタッフの生徒の自宅訪問を行うなど安否確認の措置もとっている。

生徒の心身の健康管理について、定期的な健康診断の実施に加え、病気や怪我などの入院の際や、伝染性感染症など管理が必要とされる場合など言語対応可能な職員スタッフの引率や通訳、各種手続きのサポートも行っている。精神的疾患・メンタル問題などを抱える場合、専門的知識や技能なくして単なる言語面でのサポートや生徒面談などで対応するだけでは、治癒や解決が難しいため、現状では、専門医療機関の紹介や本人並びに保護者との連携・相談を経たうえで個々のケースで対応をしている。

7 進路に関する支援

7.1 学生の希望する進路を把握し、入学時から一貫した進路指導を行っているか	5
7.2 進学・就職指導に関する体制が整備され、有効に機能しているか	5

クラス担任教員の設置により、進路希望の確認や指導を生徒全員に対し、毎学期行っている。進路担当課を常設して、担当の常駐教職員が進路指導、及び出願や就職求人応募手続きなどの相談サポートを行っている。さらに毎年7月または8月に進学説明会（2025年度：2025年7月29日開催、大学専門学校に参加校数90校）、大阪市ハローワークによる就職説明会の開催をして、生徒への情報収集・進路計画や将来構想の明確化につなげている。また、指定校推薦制度を設置当校内のみでの応募選考で生徒は優先的に進学先決定ができるなどのサポート体制ができています。

8 入国・在留に関する管理及び支援

8.1 地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置しているか	5
8.2 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っているか	5
8.3 在留に関する学生の最新情報を正確に把握しているか	5
8.4 在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか	5
8.5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っているか	5
8.6 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
8.7 日本国の法令を遵守させる指導が行われているか	5

事務統括者及び生活指導担当職員（各国語対応職員）、学校長が取次申請者講習を受け、地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者として配置できている。申請取次者として認められている学校職員がビザ更新手続きの生徒への指導を行っている。また、出入国在留管理局から継続して「適正校（クラス1）」として選定されている。

学生情報・出席状況は独自の管理システムを利用し、管理している。学生の出席・成績・在籍証明書等の各種証明書も学校管理システムを使い発行している。

各クラス担当教員が、授業欠時数が60時間（累計出席率85%になる目安/6か月毎システム集計）時点で出席不良の理由確認、主任または校長との面談指導を行っている（言語能力に支障がある場合は、母国語対応職員が通訳として同席）。さらに毎月累計及び月別の出席率の割出を行い、出席不良の生徒について面談と注意指導を行っている。また連続欠席/無断欠席などがある場合、クラス担任の面談等で問題があると判断される場合は、母国語対応の生活指導職員または学校長が面談指導を行い、生徒の就学状況の改善を促している。

全生徒に対し、個人カード（個人別・入学から卒業まで継続使用）を作成し、学校長や主任、教員が指導した内容について記入、申し送り事項として、進級やクラス替えをしても、経緯を把握し指導を行っている。

学校長や主任、教員、職員スタッフでの連携と情報共有により、生徒に対して「チーム指導」とサポートを実践している。

9 入学者の募集と選考

9.1 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定しているか	4
9.2 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っているか	5
9.3 学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等、また志願者について学校関係者（職員等）が面接などの調査で確認を行っているか	4
9.4 入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認して、受入れコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか	5
9.5 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っているか	5
9.6 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後に必要な費用が明示されているか	5
9.7 関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められているか	5
9.9 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

年間募集計画を前年度はじめに行い、それに沿った募集活動ができています。信頼できる留学紹介機関を厳選した上で、紹介機関を通して、入学志願者に対しての情報提供や入学相談を行っているほか、学校パンフレット並びにHP上での情報公表により情報提供、生徒の入学受付をしています。入学申請の書類審査については、適正且つ公平に行い、日本語学習目的・学習歴・経費支弁能力などに問題がないかの確認をしっかりと行っている。

生徒の募集基準は原則として全国籍で統一しているが、各国の教育事情などに合わせた基準も設けて確認し、選考を行うことで、学習意欲と経費支弁能力のある者を入学させている。また、複数名の担当者による書類チェックにより、より公平かつ厳正な選考ができています。

生徒募集の学費納入については、納付金金額及び納付時期、納付方法についても募集要項に各国語翻訳で明示しており、さらに返納規定についても定めている。

10 財務

10.1 財務状況は、中長期的に安定しているか	5
10.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれているか	5
10.3 適正な会計監査が実施されているか	5
10.4 生徒紹介機関に支払う手数料は相場を鑑みた適正なものになっているか	5

経営母体の学校法人メリック学園は、問題のない財務基盤があり、年度の予算・収支計画は、理事会及び評議会で審議、承認を受けて有効かつ妥当なものとなっている。また、会計処理も適正に行われ、監事による監査も受けて、理事会・評議会で監査報告がなされ、承認を受けている。（2024年度監査：2025年5月20日実施）

11 法令遵守

11.1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
11.2 個人情報保護のための対策をとっているか	5
11.3 地方出入国在留管理局、その他関係官公庁等への届出、報告を遅滞なく行っているか	5

入管法、その他の法令等を遵守し、適切に運営ができています。大阪出入国在留管理局からは、告示校として適正校「クラスⅠ」を継続して認められています。学生個人情報、システム管理しているが、データベースへのアクセスも各担当者が担当箇所のみアクセスする制限をかけており、且つ外部からのアクセスができないものとなっている。地方出入国在留管理局、その他関係官公庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。報告データの管理もしっかりと行っている。

12 地域貢献・社会貢献

12.1 日本語教育機関及び学生活動による社会貢献・地域貢献を行っているか	4
12.2 学生ボランティア活動への支援を行っているか	4

地域行事の参加や、警察・町内会等のイベント行事への参加と学生への周知など、地域との共生・地域貢献につながる活動を行っている。（2024年度・2025年度参加例：大阪府880万人訓練、日本橋連合振興町会・日本橋地域活動協議会主催日本橋パークフェス、日本橋おもつき大会、難波センター街商店街振興組合主催 全国アニメゆかりの地観光PR&物産展通訳ボランティア活動）

ウクライナ難民への日本語教育支援として、ウクライナ避難民29名を受入れを行い、日本語授業と教材の無償提供を行った。

学校教育資源を活用した社会貢献としては、大学や民間養成講座からの教育実習・教壇実習を受入れ、また大学3年/4年生向けインターンシップの受入れを実施している。こうした日本語教育現場への体験希望者の受入れは、日本語教育業界の発展に寄与できるだけでなく、日本社会のさらなる国際化と多文化共生社会への促進につながると考え、積極的に受け入れている。